



## 第2回京都府南部特別支援学級（視覚障害）等担任向け研修会 報告

日 時 令和元年 11 月 19 日（火） 14：00～17：00  
場 所 京都府スーパーサポートセンター 視覚サーチルーム  
テ ー マ 「子どもの将来像を見据えて、現在必要な力を考える」  
講 師 京都府立盲学校 教諭 牧野 文輝 氏

京都府南部地域の見えにくさのある子どもを指導しておられる先生方を対象に第2回目の研修会を行いました。当日は、小学校から3名、盲学校から1名、本校から1名の先生が参加してくださいました。

前半では、前回に引き続き、「個別の指導計画について」目標の立て方から活用の仕方を確認し、具体例をもとに先生方で協議・交流しました。

後半では京都府立盲学校教諭の牧野文輝氏より、「将来を見据えてつきたい力について～自身の体験から～」をテーマに御講演いただきました。

講師の先生の経験や体験をもとに、学習面では語彙や知識量を子どもの興味のあるところから増やしていくこと、聞いて理解するために、話を聞くだけでなく話の要点を聞き取る力の必要性、学校生活では障害を克服する過程で、自分のことを客観視し、自分を受容したり障害の状態を説明できたりすること、自分の世界を広げることの重要性をお話いただきました。

御講演の後は講演内容に関わって、見えにくさのある子ども達に今つけておきたい力についての質問や、日ごろの指導で気になることや悩みを時間の許す限り交流していただきました。



### 【受講者の感想】

・個別の指導計画について、今日の内容を今後の作成の際に参考にさせていただきます。

・御講演は、御自身が体験されたことをお話いただいたので、具体的でイメージしやすかったです。今担任している子どもにも、つきたい力を見据えて指導していきたいと思いました。

・見えない、見えにくい子どもたちに接するとき何を大切にしなければいけないか、本人の力が育つ、発揮される環境づくりをしていきたいと思います。